



力を合わせ勝利を目指せ!
～立田中学校体育祭～



愛西市

AISAI CITY
ASSEMBLY

No.58
2019.11.1

議会だより

9
月
定
例
会

特集	10月から幼児教育・保育無償化 市独自に副食代月額3500円補助	2
	議論の中から新発見	4
	一般質問 ～市政を問う～	7
	↑キ↑キ↑コーナー 第2回 佐屋剣友会	19
	取材しました! 清林館高等学校	20

月額

3500円補助

●無償化で生まれた財源活用

「子ども・子育て支援法の一部を改正する法律」の施行に伴い、愛西市の幼児教育・保育無償化に関する費用が決まりました。

Q 対象となる世帯数及び利用者数は。

A 保育所、幼稚園、認定こども園等に通園している3歳以上の児童全てと非課税世帯の3歳未満の児童が無償化の対象。

平成31年4月1現在で、世帯数は1234世帯、利用者数は1372人。

Q 児童の副食代を補助する理由は。

A 通園送迎代、主食代、行事代等は、これまで実費負担であった。利用料に含まれていた副食代が対象外となり、実費負担となる。ただし、年収360万円未満相当世帯は、副食代は免除となる。

子育て世帯の負担を軽減するため、市が今まで単独負担をしていた財源年間7200万円を使っ

て、利用者負担額に含まれる副食代の一部を市独自で助成することにした。

保育所等副食代	利用者負担
年収360万円未満相当世帯	徴収せず免除
年収360万円以上相当世帯	実費分より3500円を差し引いた額

▲副食代の補助世帯



▲みんな仲良く楽しい給食(永和保育園)

Q 副食代の補助を月額3500円に決めた理由は。

ことができる上限3500円とした。

A 市内の保育所、幼稚園等の副食代を調査した結果、30年度は、4500円から6千円だった。所得に関係なく保護者の負担を半額以上まかなう

10月から幼児教育・保育無償化 市独自に副食代

Q 副食代が全額無償になる世帯は。

A 満3歳以上で、教育認定の子どもは、市町村民税所得割合計額が、7万7101円以下、3歳以上で保育を必要とする子どもは、5万7700円以下、また、ひとり親世帯等については、7万7101円以下の世帯が対象になる。

小学校3年生までの子どもが、同一世帯に3人以上いる場合は、3番目以降から対象となる。さらに、3歳未満の子どもも対象となる。



▲栄養バランスを考えた給食

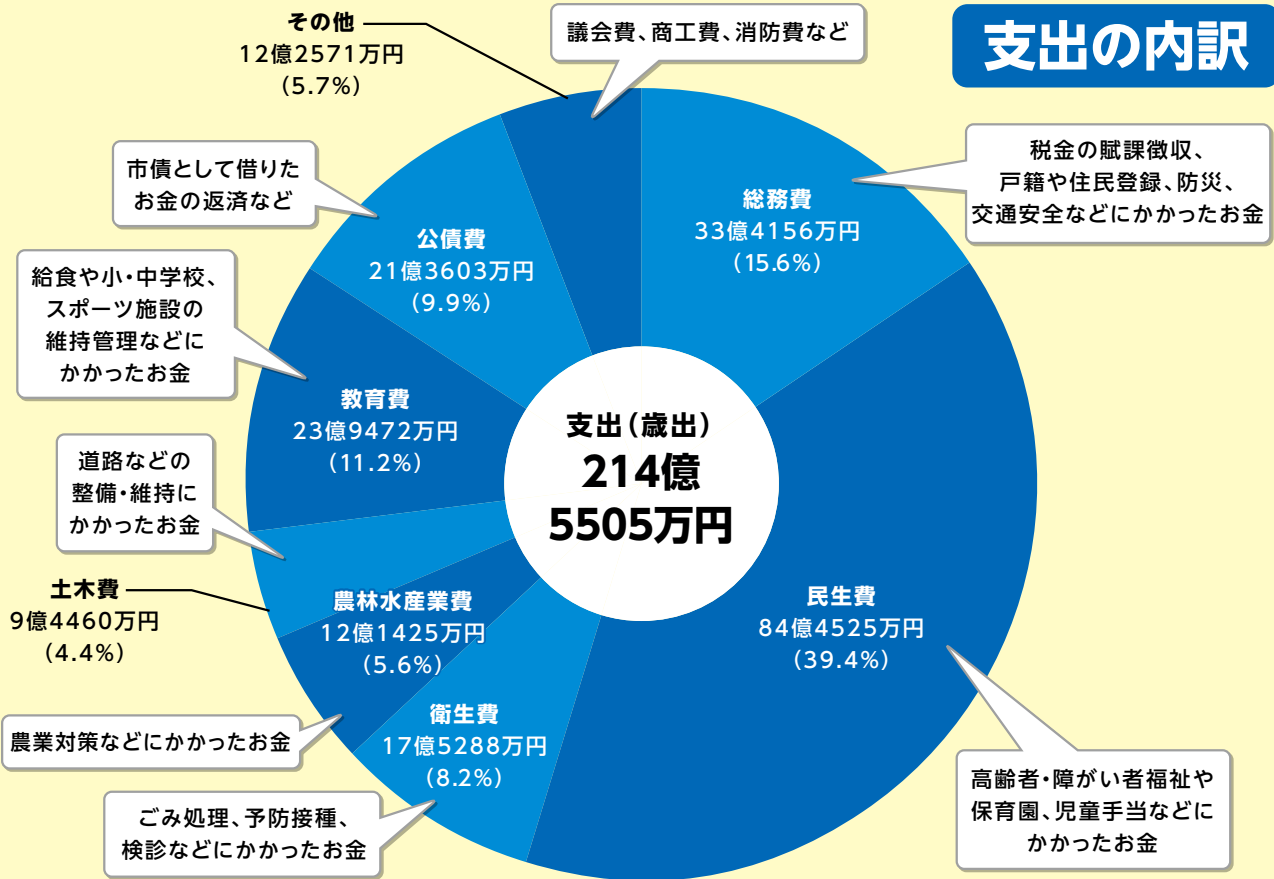
Q 10月からの支払方法は。

A 保護者への請求は実費負担分から3500円を差し引いた額が保育所等から通知される。保育所等は、保育無償化分と、副食代助成の3500円を市に請求する。

保育料無償化対象者		世帯数	利用者	無償化
保育所、認定こども園	3歳以上	859	957	○
	3歳未満	379	397	×
上記、3歳未満非課税世帯		28	31	○
幼稚園		347	384	○

▲市内の保育無償化の対象者

支出の内訳



議論の中から新発見

市民参加型「あいさい音楽祭」開催



▲市民コーラスの第九の合唱

Q 内容と成果は。

A あいさい音楽祭は市在住の音楽家の協力を得て、平成30年度から始まった。様々な楽器の演奏や合唱合戦、市内コーラスグループによるペーラーベン第九「歡喜の歌」の合唱、「愛西市バージョンふるさと」を参加者と観客全員で大合

唱した。出演者166人、観客数492人の大盛況で終わった。

永和郵便局で住民票等の証明書 交付開始

Q 事務内容は。

A 戸籍謄抄本、住民票の写し、印鑑登録証明書、所得証明書、納税証明書、課税証明書等の発行ができる。

Q FAXにより、個人情報に洩れるのでは。

A 証明書は、セキュリティが厳重な専用のFAXを使用しているの心配ない。

Q 郵便局員の守秘義務は。

A 局員に研修を実施している。また、地方公共団体の特定の事務の郵便局における取扱いに関する法律に基づいて受注者に対して事務を委託している。

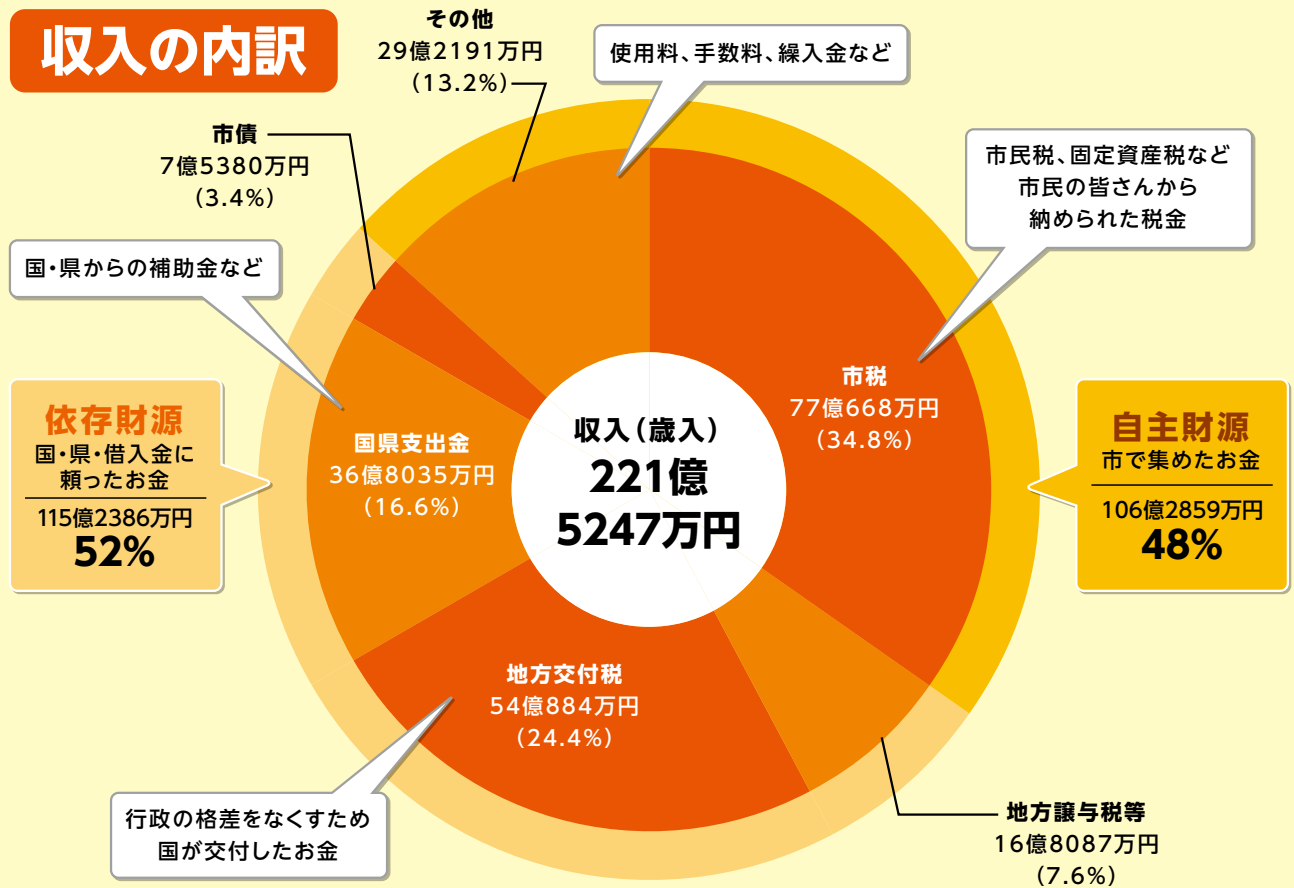
Q 手続き方法は。

A 窓口にて申請書を書き、提出。本人確認後、局員は専用のFAXを使用して市民課へ送信。市民課は証明書を作成し、郵便局へ送信する手順で交付される。



▲住民票を交付始めた永和郵便局

収入の内訳



子ども医療制度が中学生の 通院医療費まで拡大

平成30年8月から子供医療費が拡大され、乳児から小学6年生までの入院・通院は全額現物給付で従来通り。中学生は、入院は全額・通院は3分の2が助成対象で償還払いとなり、(後で申請が必要)子育て家庭の負担軽減となった。

拡大部分の実績として、対象者数1683名、申請件数1423件、支給額364万99793円。

Q 小・中学生の受診の多い科は。

A 小学生は小児科、皮膚科、歯科。
中学生は、歯科、内科、空家等対策推進事業 (40万円)

整形外科。
健康なまちづくり事業 (282万円)

道の駅周辺整備事業 (349万円)

健康なまちづくり事業 (719万円)

その他事業

討論

賛成

将来を見据えた持続可能な運営を

本市は、自主財源より依存財源が上回っている。一層の行財政改革が求められている中、適切な予算執行だ。大規模災害への備え、少子化対策、教育環境の整備、健康意識の向上など取り組まれた。未来の子供たちに、負の財産を残さない将来を見据えた持続可能な運営を期待する。

反対

市民に冷たい市政だ
高齢者の貧困問題や外出手段の確保、自主防災会の訓練補助金廃止は改善すべき。地域の行政事務委託料の30%カットは大きな痛手だ。市民サービス、地域支援の削減、小・中学校の助成金の引き下げなど市民に冷たい市政となっている。



▲子どもの検診

令和元年9月定例会 議案審議の結果と議員の賛否

○：賛成
●：反対

議案	審議結果	新生愛西クラブ									日本共産党 愛西市議団			あいさい クラブ		公明党 あいさい		無党派 派	
		鬼頭勝治	島田浩	鷲野聰明	神田康史	杉村義仁	近藤武	佐藤信男	原裕司	石崎誠子	真野和久	河合克平	加藤敏彦	大宮吉満	山岡幹雄	竹村仁司	高松幸雄	吉川三津子	馬淵紀明
愛西市パートタイム会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
愛西市手数料条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
愛西市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
愛西市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
平成30年度愛西市一般会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
平成30年度愛西市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
平成30年度愛西市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
平成30年度愛西市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
平成30年度愛西市公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
平成30年度愛西市水道事業会計決算の認定について	可	○	○	議	○	○	○	○	○	○	●	●	●	○	○	○	○	○	○
子どもの医療費完全無料化を求める請願について	不	●	●	議	●	●	●	●	●	●	○	○	○	●	●	●	●	●	●

※審議結果の「可」は可決、「不」は不採択です。その他の議案は全員賛成。「議」は議長のため、採決に加わっておりません。

総務文教委員会は、8月6日、愛知県瀬戸市に「小中学校適正配置」について行政視察を行いました。

新設予定地2 km圏内に立地する小学校5校、中学校2校を統廃合し、小中一貫校として「にじの丘学園」が、令和2年4月に開校を迎えます。



小中一貫校建設の経緯を聞く
瀬戸市

教育環境の向上と児童生徒数の減少による課題解決に向け、平成15年に「瀬戸市小中学校適正配置計画」を策定しました。10年間の計画ストッパーがあり、26年に改めてPTAから要望書が提出され、「学校は一定の規模で生徒達が切磋琢磨する」という教育長の考えのもと、再び行政主導で計画が動き始めました。28年に、地域主導で5地区に協議体を立ち上げ、行政と地域の情報共有をしながら進められました。



愛西市議会からも出艇し、無事、完走することができました。

◆◆意見書◆◆
全国市町村交流レガッタ日田大会

去る9月28日(土)29日(日)に、大分県日田市で全国市町村交流レガッタ大会が開催されました。

今定例会で次の意見書が採択されました。
■国への意見書
▼定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

市政を問う

11 議員が一般質問

一般質問とは…

議員が市の行財政全般にわたり、方針や執行状況、所信などを質問することをいいます。持ち時間は、議員1人あたり1時間です。

●定例会第2日目および第3日目に、11人の議員が一般質問しました。発言順に掲載します。

9月5日

石崎 誠子 議員(P8)

- ◆新たな子育て支援策 検討状況は
- ◆ふるさと納税寄附増額で財源確保を

近藤 武 議員(P9)

- ◆児童虐待 今後の課題は
- ◆いじめの現状は

馬淵 紀明 議員(P10)

- ◆地区別の人口減少対策は
- ◆道の駅周辺の安全対策は

吉川 三津子 議員(P11)

- ◆高齢者福祉タクシーの利用拡大を
- ◆高齢者へのワンコインサービスを

原 裕司 議員(P12)

- ◆道の駅「立田ふれあいの里」整備計画は
- ◆認知症予防は必要だ、市の見解は

山岡 幹雄 議員(P13)

- ◆医療費の中学生無料化と高校生の助成は
- ◆環境に優しいまちづくりは

9月6日

高松 幸雄 議員(P14)

- ◆子ども医療費助成の拡大を
- ◆通学路の安全確保を急げ

加藤 敏彦 議員(P15)

- ◆市内のヒバクシャの本を図書館に配置を

河合 克平 議員(P16)

- ◆手話言語条例の制定を
- ◆18歳までの医療費の無料化を

佐藤 信男 議員(P17)

- ◆三会派で要望・高校生まで医療費助成を
- ◆スポーツ施設の使用料の見直しは

竹村 仁司 議員(P18)

- ◆児童発達支援センター設置の考えは

新たな子育て支援策 検討状況は

石崎 誠子議員

市独自で副食代を補助する
子育て支援事業担当部長



問 6月議会の一般質問で、新たな子育て支援策として、給食費の無償化も含め、検討していくとの答弁だったが、その検討状況は。

答 おかずなどの副食代は、これまで保育料に含まれていたが、無償化の対象外となった。10月から、主食代と副食代が実費徴収となる。このため、市独自で副食代を所得に関係なく月額3500円を上限に補助する。

問 子育て支援策として、副食代の助成を行うこととした意義とは。

答 引き続き子育て世帯の負担を軽減するために助成する。所得に関係なく副食代を助成するのは近隣市では無い。

問 第2期子ども・子育て支援事業計画をどのような考え方のもとに策定していくのか、新たな取り組み事項も含めて伺う。

答 第1期子ども・子育て支援事業計画の基本理念を継承しつつ、子育て支援策に関するニーズ・現状を反映する形で、計画の準備を進めている。第2期計画では、新たに子どもの貧困対策を盛り込む。



▲愛西市の体験型返礼品「レンコン掘り体験」

ふるさと納税寄附 増額で財源確保を

問 商工会、観光協会と連携して、新たな返礼品の開発や発掘を進めては。

答 ふるさと応援寄附金の返礼品は、事業者にとって自分たちの商品で売り込み販路拡大のきっかけになる。市にとっても農業振興や産業振興を図る手段として、有効であると理解している。今

後も商工会や観光協会の会員に働きかけをしていく。

問 体験型の返礼品もあるが、そうした「コト」を重視した返礼品についての考えは。

答 体験型返礼品は、実際に愛西市に足を運んでもらえる機会にもなることから、積極的に取り入れたい。

問 「愛西市が行う事業を純粋に応援したい気持ち」で協賛金を集める方法について考えは。

答 実施可能な事業があるか精査し、可能であればクラウドファンディング型ふるさと納税を行う。

※クラウドファンディングとは。

不特定多数の人がインターネットを通して他の人々や組織に財源の提供や協力などを行うこと。



児童虐待 今後の課題は

近藤 武議員

支援拠点設置、虐待対応職員育成を行う
子育て支援事業担当部長

問 本市の児童虐待の現状と対応は。

答 児童福祉課に家庭児童相談室を設置し、相談員を2名配置している。18歳までの子どもに関する全般的な相談や、虐待に関する相談について、対応している。平成30年度の相談実績は、延べ111件。児童虐待に関する相談は、28件だ。

児童虐待の相談を受けた場合には、関係機関と連携し、虐待等防止ネットワーク協議会実務者会議の場で、支援方針について協議を行ったり、各機関と連絡を取りながら対応をしている。

問 今後の課題は。
答 国には、令和4年度までに全市町村に「子ども家庭総合支援拠点」の設置目標がある。支援拠点の設置、児童虐待対応職員の育成が課題である。

問 子育て世代包括支援センターは、開設して2年が経過した。現在の課題は。

答 子育てに関する課題に対して、母子保健と子育て支援、学校保健、医療、そして、地域が連携し、身近で親身に支える仕組みを整備していくことが必要だ。

いじめの現状は

問 認知件数は。また、行政との関わりは。

答 30年度の認知件数は、小学校8件、中学校13件だ。

市長と教育委員会が構成される「総合教育会議」が設置され、必要に応じて、いじめに関することも協議・調整を行うこととしている。

問 各学校での取り組みは。

答 朝礼、全校集会や学年集会などで、いじめ防止に向き合う機会を作っている。また、インターネット等によるトラブルに関する講演会も実施している。

生徒会発案によるオレンジのリボンを活用したいじめ防止に関する活動を行っている中学校もある。

私たちは子ども虐待防止オレンジリボン運動を推進しています。

児童虐待防止ホットライン 0567-25-7131
児童相談所 0567-25-5823
児童福祉課 0567-25-5823

「いじめの現状は？」と題した市議会議員の質問に答えるコーナー 189
児童相談所 0567-25-5823 児童福祉課 0567-25-5823

オレンジリボン運動に関するお問い合わせ
児童福祉課 0567-25-5823

あなたの子育て応援します

子どもは大切
でもあなたも大切
ひとりで悩まないで

オレンジリボン運動
あなたの子育ても応援しています。

愛西市

▲市の虐待防止のPR

地区別の人口減少対策は

馬淵 紀明議員

国や市全体に係る総体的な課題である
企画政策部長



10年ごとの地区別人口の将来推計(人)

	2020年	2030年	2040年
佐屋地区	28,524	26,368	23,976
立田地区	7,204	6,460	5,648
八開地区	4,519	4,104	3,669
佐織地区	21,962	20,138	18,153

▲地区別の人口推移の推計結果

問 人口減少による問題は、
答 社会保障費の増大と市民の税等負担の増加が見込まれる。また、市民の利便性が低下するほか、保健、医療、福祉などさまざまな分野での影響が懸念される。

問 地区別の人口減少対策は。
答 人口減少は、国や市全体に係る総体的な課題である。
問 拡散型まちづくりではなく、コンパクトなまちづくりについて、市の見解は。
答 集約型のまちづくりについては、中長期的な視点に立って検討が必要であると考えている。

道の駅周辺の安全対策は

問 県道を通って、「蓮見の会」会場入りは危険だ。仮に歩行者用の橋を架けた場合の利点は。
答 歩行動線として、安全面も含めスムーズな利用者動線を創出できる。

問 事故が起きないように、新たな橋の整備を考えていく余地はある。市の考えは。
答 道の駅周辺整備の中で、移動動線の安全面の検証をするともに、利便性に配慮した施設整備に向け、基本計画の策定を進めていきたい。



▲危険を感じている県道の橋(道の駅東)



高齢者福祉タクシーの利用拡大を

吉川 三津子議員

事業内容の見直しの時期だ
健康福祉部長

長久手市いきいき介護予防教室運営委託事業

送迎と買い物支援と介護予防

買い物
リハビリテーション

毎週水曜日 10:30-12:10

無料体験受付中

アビタ長久手店 アビタ⇄ご自宅
■ 300円/回（買い物は自費） 送迎します!!

お申込み・お問合せ リハビリフィットネス旭
☎ 052-773-3103（担当：中根）

▲長久手市の買い物支援

問 福祉タクシーチケットは、65歳以上の独り暮らしと高齢者世帯に限られ、概ね月1回の利用しかできない。また、運転免許のない日中高齢者のみの世帯は利用できない。見直しは。

答 年齢、事業内容の見直しの時期が来ている。

問 デイサービスを行う民間事業所は、10時頃と4時頃に送迎に車を使うのみで、その他の時間は空いている。長久手市は、こうした事業所と連携して買い物支援を行っている。取り組む考えは。

答 民間事業所の協力が得られれば、取り組んでいくことも必要だ。

問 長久手市は、NPOに委託して高齢者ワンコインサービス事業を行っている。草取りや窓ふきなどは30分500円、ゴミ出しは10分100円で、利用者が支援者に支払い、支援者は別途、市から補助金を1回あたり300円もらえる。概ね60歳以上の健康な高齢者が、

高齢者へのワンコインサービスを

答 ちょっと困っている高齢者を支える仕組みだ。研究する考えは。研究していく。

問 高齢農業者の運転事故を防ぐための安全装置導入補助の考えは。

答 農業従事者だけの問題ではないが今後、検討していくべきものである。

お困りごとはありませんか。

ゴミ出し、電球交換、草取り、窓拭き、などなど

「ちょっとしたことだけど、自分ではなかなかできないなあ。ってこと、ありませんか？」

● そんな時にご利用ください ●

長久手市ワンコイン 500 100 サービス

30分以内 500円 10分以内 100円

草取り 窓拭き ゴミ出し 電球交換

※※※ 買い物代行、簡単な掃除などプラス500円で50分のみ延長可能

「登録できる人（長久手市に在住の65歳以上のひとり暮らし、75歳以上のみの世帯のみならず）」

まずは登録しましょう。くわしくは、お電話にお電話ください。

NPO法人つづら tel 0561-78-2043
（長久手市）
長久手市役所 長寿課（9階） tel 0561-56-0639

▲長久手市のワンコインサービス

道の駅「立田ふれあいの里」 整備計画は

原 裕司議員



今年度、基本計画の中で整理する
産業建設部長



▲産直コーナーにて商品棚に陳列する会員

問 道の駅の会員となる条件は。

答 「ふれあいの里運営連絡協議会」が規約で決めている。原則として、市内に住居を構え、産直会、商工会、農村輝きネット・愛西に加入している者だ。

問 平成29年度と比較し30年度の売り上げが、約3412万円減少している。その要因は。

答 天候不順や夏の酷暑などにより、作物の生育にも影響が生じ、産直品が不足したことだ。

問 観光拠点となれば、多くの来場者が訪れる。農産物販売や休憩室等のスペース、駐車場は狭い。拡充の計画は。

答 農産物等販売スペースや駐車場などについては、手狭であるなど、関係団体の意見や道の駅利用者アンケートから拡充の必要性は十分認識している。今年度策定する基本計画の中で整理している。

認知症予防は必要だ、市の見解は

問 成年後見制度の活用状況は。

答 制度を活用しているすべての認知症高齢者の人数は把握していないが、身寄りがなく市長が家庭裁判所に申立てた件数は、28年度2件、29年度3件、30年度5件だ。

問 買物代行や移動手段等の支援団体や制度は。

答 住民主体型の訪問型サービスB実施団体が4団体ある。その他、高齢福祉タクシーや社会福祉協議会が実施する「買い物支援バス事業」がある。

問 認知症予防にとって、高齢者支援団体への活動しやすい助成を含めた行政としての取り組みが必要だ。市の見解は。

答 予防をするためには、適度な運動、バランスの取れた食事の摂取、家に閉じこもらずに外に出ること等が大切だ。

今後、65歳以上を対象とした一般介護予防事業や通所型サービスB、サロンなどの介護予防に資する集いの場の設置を進め、発症予防に努めていきたい。



医療費の中学生無料化と 高校生の助成は

山岡 幹雄議員

できることは、来年度から実施したい
市長

問 市の人口の推移と今後の見通しは。

答 国勢調査による人口推移は、平成12年6万5597人をピークに減少し、27年には6万3088人。今後の見通しは、何の対策も講じない場合、市の人口ビジョンでは令和7年に5万9千人を下回る推計だ。

問 人口減少を食い止めるためには、市で育った若い世代がふるさとに帰って子どもを産み育てる流れが大切だ。市の考えは。

答 この地で育った若者が、ここで子どもを生み育てるといふ、次の時代への引き継ぎ、受け継ぎが必要だと考える。

問 子ども医療費無償を中学生まで拡大し、高校生に対して医療費の助成を行うことが、出生率の引き上げや子育て世代の増加につながる。市長の見解は。

答 3党派から、子ども医療費助成の拡充を求める要望書が提出された。内容について十分な検討をし、できることは来年度から実施したい。

環境に優しい まちづくりは

問 環境美化の推進について、どのように取り組んだか。

答 生活環境や自然環境の美化を図ることを目的に、毎年11月の第2日曜日に、ごみゼロ運動を実施している。

問 ごみのポイ捨てが無くならないのはなぜか。

答 ごく一部の心無い方のモラルの問題だ。

問 ごみを出さない工夫として経済産業省は循環型社会を形成するため、リデュース、リユース、リサイクルの3Rを行っている。市も取り組まな

答 ごみの発生を抑制（リデュース）、再利用（リユース）、再生（リサイクル）、限りある資源を有効に繰り返し使う循環型社会の形成に向けて、取り組む必要がある。

その他の質問

- 防災気象情報と警戒レベルの対応は
- 安心安全なまちづくりの取り組みは



▲ 予防接種の風景

子ども医療費助成の 拡大を

高松 幸雄議員

十分に精査し、早急に実施を検討する
市長



問 現在、本市が実施している子ども医療費の助成制度は、昨年の8月から中学生に対する通院費の助成を開始したところだ。公明党あいさいを含む3党派は、子ども医療費の高校生までの拡充を市長宛てに要望した。

答 助成制度を拡大することは、経済的負担の軽減対策の一つとなると理解している。市として、子育てのしやすいまちづくりのため、いろいろな施策を展開しながら、魅力あるまちづくりを、今後とも進めていきたいと考えている。今回の要望については、十分に精査し、できるものについては、早急に実施する考えで検討していきたい。

通学路の 安全確保を急げ

問 北一色町の通学路に、信号の手前で歩道がなく、道も狭いところがある。そこから先にグリーン塗装があるが、信号の手前の横断歩道で切れている。その先も通学路になっているが、全然施工されていない。手前に佐屋小学校と中学校があるので、下校時間が一緒にになると、自転車と歩行者が広がった形になり、車がその後ろについている状況で、非常に危険な箇所だ。解決できない理由は。

答 現況の幅では、グリーンベルトの幅が一部確保できないのが理由で、今後、外側線の引き直しなどを検討し、グリーンベルトを引けるような対応をしていく。

問 危険箇所に対する市長の考えは。

答 通学路の安全確保に努めていかなければならないと考えている。生徒が、交通事故に遭わないように対応をしなければならぬ。通学路は変更を含め、できる限り対応していきたい。



▲歩道が突然なくなる危険な通学路(北一色町)



市内のヒバクシャの本を 図書館に配置を

加藤 敏彦議員

中央図書館に伝え、対応を考える

教育部長

問 平和行政について、戦争の体験者が少なくなっているが、市の取り組みは。

答 毎年8月に「平和祈念式」を開催している。また、8月6日の広島市の「平和記念式典」に、市内中学校3年生の24名が参加し、市民の平和への願いを込めた「折鶴」を原爆の子の像に捧げている。

問 8月1日の中日新聞に「被爆者を見捨てるんだわさ」という見出しで、愛西市の被爆者の会の加藤浩さんの体験を孫の愛葉由依さんが本「祖父とあゆむヒロシマ」（風媒社）にして出版したことが紹介された。本市の図書館や学校の図書室に置いて、市民の閲覧や生徒の平和学習に活用する考えは。

答 中央図書館では、愛西市に関連する図書の収集を行っているので、指定管理者に伝え、対応を考えていきたい。中央図書館が、その本を蔵書にすれば、学校貸し出し等を使って平和学習に生かしていきたい。



▲出版された『祖父とあゆむヒロシマ』

問 自衛隊員募集について、国の方針、また市の対応はどうなっているか。

答 市民から名簿の閲覧をやめると申し出があった場合、市の対応は、防衛大臣から、自衛官募集等の推進について依頼文書があり、募集対象者名簿を作成し、閲覧している。

DVや虐待被害者への支援措置の申し出については閲覧制限がかかるが、住民基本台帳法では、本人が閲覧台帳に掲載を拒否することはできない。

問 憲法9条に自衛隊を明記する改正について、自民党の古賀誠元幹事長は「必要がない」と明確に述べている。憲法に自衛隊が明記されれば、日米安保条約にもとづき攻撃型任務が出てきたり、自衛隊募集について強力な要請が行われるようになることが心配される。

市長の考えは。

答 市長としてどう考えているか、答弁する立場にない。

その他の質問

- 巡回バスの津島市民病院への乗り入れは
- プラスチックゴミの海の汚染とレジ袋の削減は

手話言語条例の 制定を

河合 克平議員



手話言語法が制定された後に検討する

健康福祉部長



▲手話劇の練習風景

問 過去に聾学校では、手話を禁止し口話を強いて、聾者の人権を認めなかった。言語として、手話を認めた障害者権利条約や障害者基本法に照らして、手話を認知し、普及し、手話が使え、環境を整備していく。このことは、かつての苦難の歴史を二度と繰り返さず、手話によって自由にコミュニケーションがとれ、差別のない人権が守られ

る社会に変わっていくことになる。
このことを社会全体で確かなものにするため、法的整備や環境整備を公的な責任で進めて行かなければならない。手話言語条例の取り組みの状況は。
答 本市は、平成26年に手話言語法を求める意見書を議会で採択した。また、愛知県は、28年に手話言語の普及及び障害の

特性に応じたコミュニケーション手段の利用の促進に関する条例を制定している。

県と協力しながら手話言語の理解を推進し、国が手話言語法を制定した後、それを準拠に市の条例の検討に入る。

問 国の法制定を待つのではなく、条例制定を行うことが必要。県条例など条件が整う中、条例を制定するだけという状況だ。市長の見解は。

答 今年度より、窓口到手話通訳者の配置をした。今後も、手話への理解を進め、手話を使用しやすい環境を整え、市民がお互いに理解する共生社会の実現に向け努力する。

18歳までの医療費の無料化を

問 日本共産党愛西市議団は、「子どもの医療費の無料化をすすめる会」からの請願の紹介議員をしてきた。一番初めは、26年12月、子どもの医療費無料化を求める請願書9298人分が提出された。今まで5年間、毎議会ごとに、この市民の願いは否決されてきた。中学校卒業まで無料化すると同時に、子ども権利条約や児童福祉法の対象の18歳までの医療費の無料化の考えは。

答 来年度に向けて、どのような手法で実施していくのか、今後しっかりと検討して、持続可能な助成制度になるよう、進めていきたい。



三会派で要望・ 高校生まで医療費助成を

佐藤 信男議員

来年度から継続的に実施を前向きに検討
市長



▲副食代補助となる保育所(佐屋中央保育園)

問 幼児教育・保育の無償化が実施されることにより生じる財源を、別の子育て施策に活用する考えは。

答 今議会の一般会計補正予算で計上した「幼稚園・保育所等副食代補助事業」がひとつの財源活用である。

問 同じなかつた。財源確保できれば、助成対象年齢の拡大は大きな意義がある。我々を含めた3会派連名で市長宛に子ども医療費助成の充実を求める要望書を提出した。幼児教育・保育の無償化で生じた財源を活用し高校生に対する医療費助成を行ったらどうか。

答 高校生への医療費助成も継続的に実施できるか、来年度からできるのか、前向きに検討する。

スポーツ施設の 使用料の見直しは

問 使用料の5割減額の
時限措置が導入されて3
年目にあたる。年度末で
終了するのか。

答 令和元年度末で終了。

問 スポーツ少年団の活動は、子どもたちの体力向上・健全な成長に寄与している。何か配慮は。

答 スポーツ協会の意見を聞き、支援を考える。



▲充実するスポーツ施設(親水公園フットサルコート)

児童発達支援センター 設置の考えは

竹村 仁司議員

途切れのない支援のため、設置を検討
健康福祉部長



▲児童発達支援の様子(あいさいわかば)

問 国では、障害者基本法の理念に基づき、障害種別（身体障害、知的障害、発達障害を含む精神障害）ごとに縦割りにされていた障害者福祉制度を全面的に見直し、自立支援の観点から、一元的なサービス提供システムを是正した形で、新たに障害者総合支援法が平成24年に制定された。

答 児童発達支援センターは、発達の遅れ、もしくは可能性のある児童に対して療育を行い、保育所等になじめるよう支援を行う。相談事業は、18歳までの児童に対して継続的な相談、支援を行うものである。

問 平成30年3月議会の折に、愛西市障害福祉計画の成果目標にある地域生活拠点の整備について一般質問した。当時の部長からも、グループホームの建設についての計画がある旨の答弁があった。その計画の中に、社会福祉協議会が主体となっていて行っているが、現状どこまで計画が進み、どのような建設予定になっているか。

答 社会福祉協議会には、現在6名定員のグループホームが2カ所ある。今年度中にも旧郷土資料室の跡地に1カ所完成させる予定を聞いている。今後、数が増えれば事業運営や世話人の困りごとなど、総合支援協議会などを通じて情報交換をし、質の向上に努めていきたい。

その他の質問

●青少年問題協議会は

また、これからのグループホーム建設にはどのようなネットワークが築かれていくのか。

佐屋剣友会活動

稽古日は 毎週火曜・金曜・土曜の
午後7時～午後9時

場所は 佐屋中学校武道場他

部員数は 82人

指導者数は 18人

指導者から一言

佐屋剣友会は来年で発足40周年を迎えます。自己の心身鍛錬を目的とした指導をしています。礼儀作法を身に付けたい子どもたちを集まってほしいです。

将来の夢は

剣道で日本一になりたい

愛西市にお願いしたいことは

佐屋中学校の剣道部を復活させてほしい

勉強と剣道の両立は

剣道は頑張る、勉強は少し頑張る

剣道の魅力は

己に打ち勝つ強い精神を鍛えられる
正しい礼儀が身につく

開かれた議会を目指し、より市民に親しまれる「愛西市議会だより」にするため、写真掲載とコメントを募集します。

小中高生などを対象としたサークル活動・スポーツ団体などで、活動内容を撮影した写真と活動内容に対するコメント。

お問い合わせ・送付先

愛西市議会広報特別委員会（市議会事務局）

〈住所〉〒496-0805 愛西市稲葉町米野308番地 〈電話〉0567-55-7141
〈ファックス〉0567-26-7141 〈メール〉gikai@city.aisai.lg.jp

第15回取材しました! 高校編①

清林館高等学校

愛西市に移転し、学ぶ環境充実

Q 学校の特徴を紹介してください。

A (教頭先生)19年前に男女共学となり、現在は、ほとんどの生徒が進学します。海部津島地域以外から通学する生徒も多く、よく弟妹が入学されます。

国際コースでは、三河地区や三重県、岐阜県などから通学する生徒もいます。全員が英検2級、上位半分が準1級、1級をとります。2年生時に1年間休学して海外留学します。9月からの留学だと翌年9月の復学前の7月8月は時間があるので、愛西市内の小中学校に英語学習のボランティアや夏の英語キャンプなどで協力できないかと考えています。今も大治町や飛島村で英語キャンプを手伝っています。

Q 愛西市との連携はどうか。

A 佐織体育館で佐織中学校の部活動と合同練習をおこなっています。中学校の先生は、顧問のスポーツをやっていた方も多く、



本校の一流の指導者の下で練習できると喜ばれています。また、愛西市との連携事業では、市の活性化や商品開発などのテーマで学習し、市の職員にも参加していただいて、グループ発表、プレゼンテーションも行なっています。

Q 今後について。

A 昨年、駅も近く通学しやすい場所に、広い学校敷地を確保でき、式典やクラブ活動などすべて学校内で行え、学びやすくなりました。地元の多くのお子さんに通っていただきたいと思います。

沿革

大正15年	津島縫製女学校創立
昭和23年	津島女子高等学校と改称
平成13年	清林館高等学校と改称 一部共学化
平成15年	普通科全コースを男女共学化
平成30年	愛西市に新校舎竣工

令和元年12月定例会の開催予定

- 11月29日(金) 本会議(招集日) 議案上程
- 12月 5日(木) 本会議(第2日) 一般質問
- 12月 6日(金) 本会議(第3日) 一般質問
- 12月11日(水) 本会議(第4日) 議案質疑
- 12月13日(金) 総務文教委員会
- 12月16日(月) 建設福祉委員会
- 12月20日(金) 本会議(最終日) 討論・表決

クローバーTV放映日時(チャンネル121)

- 12月10日(火) 午前10時～・午後7時～
- 12月11日(水) 午前10時～・午後7時～

- 本会議及び常任委員会は午前9時30分から開催します。
- 日程は変更になる場合もありますのでご了承ください。
- 詳しくは議会事務局へお問い合わせください。

編集後記

各地で豪雨や台風の大きな被害が出ました。被災された皆様に心よりお見舞い申し上げます。

その中、ラグビーワールドカップで日本代表が活躍し、日本中が大変盛り上がり、勇気づけられました。

この58号の「取材しました」からは、市のイベントなどで連携をしている、市内にある高校を取り上げていきます。この取材を通し、若い世代にも議会を身近なものとして、感じてもらえたらと思います。議会を分かりやすく皆さまにお伝えできるように努めていきますので、よろしくお願いたします。

(近藤 武 記)

委員 長	近藤 武
副委員 長	高松 幸雄
委員 員	佐藤 和久
	原 信男
	馬淵 裕司
	紀明 裕司